

中部地方 ESD 活動支援センター 2022 年度 SDGs 学生サミット 実施要領(案)

環境省 EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター

●目的と概要

学生などユースを中心とした ESD のフィールドとして地域の SDGs の取組を議論する学生サミットを開催する。中部大学中部高等学術研究所デジタルアースルーム(壁面大型スクリーンと各種デジタルデータベースによる GIS 活用)をハブとしたオンラインネットワークによる SDGs に向けた地域課題解決のためのディスカッションをオンラインで開催する。

●日時・場所 2023 年 2 月 4 日(土) 13:00~17:00(240 分)

ハブ:中部大学中部高等学術研究所デジタルアースルーム

サテライト:コア参加メンバー(自治体担当者、大学生)の各サイトまたは個人

●参加対象

- ・コア参加:地域内大学学生、大学研究室、関係自治体職員等、オンラインミーティングに参加
- ・一般参加:動画のライブ配信 一般視聴者を対象に EPO 中部等で広報、動画配信(事後も公開予定)

●プログラム

《挨拶・趣旨説明》(10 分)

環境省中部地方環境事務所

伊藤恭彦氏(EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議 座長)

《第1部》団体発表:若者にとっての SDGs~学習活動等の取組紹介や展望(90 分)

中部地方に所在する大学等の学生グループ、地域のユースグループ、6 団体程度

《第2部》話題提供:地域の SDGs 取組~自治体の SDGs の取組について~(45 分)

中部地方の SDGs 未来都市に選定されている基礎自治体の SDGs 推進担当職員 3 人程度

案:福井県鯖江市(2019 年モデル都市),三重県いなべ市(2020 年モデル都市),長野県長野市(2021 年)

《参考インプット》「見える化プログラム」分析と「地域 SDGs データセット」(15 分)

《第3部》ディスカッション:ローカル SDGs のために。すべきこと、できること!(60 分)

ファシリテーター:EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター

●主催と協力

主催:EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター

協力:中部大学中部高等学術研究所、国際 GIS センター問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点

タイムスケジュール案

時刻	内容	備考
前日	機材準備、会場しつらえ	
10:00	EPO 中部・中部 ESDC:会場着	
12:30	オンライン受付 登壇者・関係者の到着、オンラインルーム入室	
開会		
13:00	YouTube 配信開始	
13:00	挨拶:環境省 EPO 中部・中部 ESDC 運営会議座長・名古屋市立大学・伊藤恭彦先生	進行:EPO 中部・中部 ESDC
13:05	趣旨説明とプログラム進行の説明	
第1部 団体発表:若者にとっての SDGs～学習活動等の取組紹介や展望～		
13:10	若者にとってのローカル SDGs(各 15 分)6 団体を予定 学生による発表 学習活動等の取組紹介、または展望など	
14:40	休憩(10 分)	
第2部 話題提供:地域の SDGs 取組～自治体の SDGs の取組について～		
14:50	中部地方の SDGs 未来都市に選定されている基礎自治体の SDGs 推進 担当職員 3 人(各 15 分)	
15:35	参考インプット:SDGs 取組と指標の可視化「活動見える化プログラム」分 析と「地域 SDGs データセット」(15 分)	中部 ESDC
第3部 ディスカッション ローカル SDGs のために。すべきこと、できること!		
15:50	各グループの指導教官、学生グループ代表者、話題提供者のコメント(15 分)	コーディネーター 中部 ESDC
16:05	これから「すべきこと、できること」(10 分) コア参加者質疑、議論(20 分)	ブレイクアウトルーム活 用を検討
16:35	議論の共有(15 分)	コーディネーター 中部 ESDC
16:50	総括 名古屋市立大学・伊藤恭彦先生 閉会あいさつ 連携協力機関:中部大学教授国際 GIS センター長 福井弘道先生(予定)	
17:00	終了	